

令和 8 年度 府中市立学校通学区域審議会 概要

開催日時	令和 8 年 8 月 1 8 日（火） 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 1 0
開催場所	上下地域共生交流センター
出席委員	府中市議会議員 水田 豊 府中市議会議員 岡田 隆行 上下北小学校PTA会長 鹿谷 太郎 上下南小学校PTA会長 山手 元治 上下北小学校校長 木村 亮三 上下南小学校校長 高森 嘉代 小塚町内会会長 杉本 忠三 井永町内会会長 田中 智文
欠席委員	上下中学校PTA会長 西山 稔大
事務局	教育長 門田 雄治 教育政策課長 和田 美樹 学校教育課長 津田 典和 学校教育課主幹 大垣 進吾 教育政策課 江種 崇浩
開会	教育長の挨拶に続き、委員の紹介が行われた。 その後、委員の互選により、会長に杉本忠三委員、副会長に高森嘉代委員が選出された。
諮問	教育長より、以下の事項について諮問がなされた。 【諮問内容】 学校再配置後の上下北小学校の通学区域の在り方について 【内容案】 学校再配置後の上下北小学校の通学区域は、上下北小学校と上下南小学校の通学区域を併せた区域とする。
説明	事務局より、上下中学校区の学校再配置に向けたこれまでの取り組みや今後のスケジュールについて説明が行われた。 【主な説明内容】 ○令和 9 年 4 月に、上下北小学校と上下南小学校を再配置し、現在の上下北小学校の位置で新しいスタートを切る。再配置後は全学年で単式学級となる見込みである。 ○令和 1 1 年度以降に、小学校と中学校を一体化した「義務教育学校」への移行を検討している。 ○現在、再配置に向けた不安を解消するため、両校の児童による合同授業や交流活動を月 1 回実施している。その結果、再配置に対する不安を抱えていた児童の数も大幅に減少している。
質疑応答及び審議	事務局の説明に係る質疑応答、諮問内容の審議が行われた。 ○上下中学校の通学区域についても、新たな上下北小学校の通学区域と一致することが確認された。 ○義務教育学校への移行について、義務教育学校化に伴うメリット・デメリットについて意見が出され、児童や保護者が安心して新しい

	学校生活を迎えられるよう、引き続き丁寧な説明と環境づくりを進めることが確認された。 ○上下南小学校の児童の通学バスの運行ルートや乗降場所について、今後の推進委員会や部会の中で地域の実情に配慮しながら具体的に決定していくこととなった。
審議結果	審議の結果、諮問のとおり「学校再配置後の上下北小学校の通学区域は、上下北小学校と上下南小学校の通学区域を併せた区域とする」ことが、出席委員全員の賛成により承認された。 また、審議会からの答申にあたり、以下の２点を「付帯事項」として教育委員会へ申し送ることを決定した。 ○安全で確実な通学路の設定に努めること。 ○利用児童の乗降場所等について、再配置推進委員会等で十分に協議し、適切に対応すること（※バス停設備の活用等に関する地域からの意見についても、今後の検討の参考とする）。
閉会	最後に高森副会長より、子供たちが不安なく新しい学校生活を迎えられるよう、残り７ヶ月間しっかりと準備を進めていく旨の挨拶があり、審議会は終了した。